



※『行政自治会だより』は古河市公式ホームページ（市民協働課）から
ご覧いただけます。

回覧

行政自治会だより

令和2年1月31日発行

第27号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 熊木 津佐雄

新年のごあいさつ



古河市行政自治会
会長 熊木 津佐雄

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかに初春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。

昨年は平成から令和へと元号が変わり、新たな気持ちでのスタートとなりました。

一方で、異常気象による台風の巨大化が叫ばれる中、千葉県が台風第15号により最大風速50メートル以上という風雨にみまわれ、家屋の倒壊やがけ崩れ、土砂災害等にみまわれてしまいました。ライフラインが分断され復旧に遅れをとる中、その後の超大型の台

風第19号では、静岡や関東地方に上陸し豪雨をもたららし、各地に洪水や河川の氾濫をもたらしました。古河市も利根川・渡良瀬川が氾濫警戒水位を超え、避難勧告、そして避難指示が出され深夜の避難行動となつてしまいました。

自然災害を防止することは不可能ですが、人的被害を最小限にとどめるためにも、日頃より防災意識をもち、備えや行動の確認、情報を把握し、自分の命は自分で守ってゆきたいものです。

古河市行政自治会としても、より一層の対策を推進していければと考えております。「健康で安全・安心」な住みやすい町づくりを、これからも継続して推し進めてまいりますので、今後とも会員の皆様にはより一層のご協力をお願いいたします。

結びに、新しい年を迎えて皆様にとりまして、よりよい年になりますよう心よりお祈り申し上げまして新年のあいさつといたします。

台風第19号 警戒レベル4 古河市避難指示発令 -その時取った行動-

昨年10月12日午後から13日にかけて、関東から東北に抜けた台風第19号。古河市では、12日の朝には市内3か所に自主避難所が開設されました。夕方には思川が危険氾濫水位に達する可能性があるため、避難所が開設され高齢者の避難開始が発令されました。深夜には利根川、渡良瀬川が危険水位に達する恐れがあるため、古河市の大半の地域に避難指示（緊急）が出され、32か所の避難所が開設されました。

深夜の避難指示のため、どこの避難所に行けばいいのか戸惑いながらも避難所に向かうも、道路が渋滞で走れなかったり、せっかく避難所についても人がいっぱいでも入場制限やペットと一緒に中に入れず駐車場で朝まで過ごすなど、初めての避難に混乱がつかまいました。避難した後も、近所に声を掛けなかったのが気になったり、体が不自由で人に迷惑がかかるので避難ができなかったなど、様々なことが起きていました。

行政自治会の役員である私は、今どのような行動を取ったらいいのか迷いながらも避難している娘の所から地元の町内に戻り、地形の低いところの住宅に行き

避難していない何軒かの人に声をかけてから娘の所に戻りました。

幸い古河市では大きな被害にならずに済み正直助かりました。行政、消防を始め、いろんな場所で一生懸命に頑張っていたいただいた皆様に感謝するとともに、今回の経験を生かし自分自身でどう行動を取るかしっかりと考えないといけませんね。

（広報委員 蜂須 誠司）



自治会長・行政区長視察研修を行いました

令和元年10月18日・19日の2日間、自治会長・行政区長96名参加のもと視察研修を実施しました。研修先は新潟県新発田市と新潟市です。18日は、宿泊先のホテルにおいて新潟お笑い集団 NAMARA 代表江口 歩さんより「この時代の自治会の役割」と題して講演をいただきました。

江口さんは、全国初の地方発信型お笑いプロダクション「新潟お笑い集団 NAMARA」を、新潟県で1997年に立ち上げるなど忙しい活動を続けているかわら、地元の自治会長をしています。今回の講演は自治会長を引き受けたいきさつや活動状況等をお笑いを交えての講演でした。その中で、自治会の中にもいろいろな財産があり「その人たちを活用して盛り上げていくことが必要である」。自治会を運営していく上で「これだけはやってくれるという若手同士の活用や女性の活用をいれて、自治会を活性化することが必要である」と言ったことを話しておられました。

19日は新潟市に移動し、新潟県会議事堂として使用されていた「新潟県政記念館」にて、新潟県の県政史等を研修しました。
(広報委員長 梅津 信男)



江口氏の講演に聞き入っていました

古河市 総和地区 市民運動会が開催されました

今年度の市民運動会は、台風第19号の影響により三和地区（開催予定日：10月13日）及び古河地区（開催予定日：10月20日）の運動会が中止となっしまい、総和地区のみが開催されました。

第46回を迎えた古河市総和地区市民運動会は、好天に恵まれた11月3日（日）、中央運動公園陸上競技場において開催されました。今大会は、28行政区の参加により熱戦が繰り広げられ、特に、行政区対抗種目には熱い声援が飛んでいました。昨年に引き続き、女沼行政区が優勝を飾りました。
(広報委員 尾沼 卓)



選手宣誓



綱引き



二人三脚

「令和元年台風第19号災害義援金」を贈呈しました

古河市行政自治会は、「令和元年度台風第19号」によって被害を受けた方々に、少しでも手助けになればと、自治会・行政区を通じ災害義援金を募集し、義援金の総額が5,316,425円となりました。

お寄せいただいた義援金は、日本赤十字社茨城県支部古河市地区を經由して全額が被災された方々へ届けられます。皆様の温かいお気持ちに心より感謝するとともに、ご協力に御礼申し上げます。



1月9日、義援金贈呈式が行われました

第4地区「地域のつどい」が開催されました



古河白梅幼稚園の園児による合唱

11月3日（文化の日）に古河市大山にある隣保館で「第24回地域のつどい」が開催されました。人権啓発事業並びに地域交流の一環として、毎年恒例の親子三世代交流事業として行われています。

第四小学校校長先生の講演「みんなの笑顔で自分も笑顔」をはじめ、小学生や近所の古河白梅幼稚園の園児による合唱、各自治会・地域の敬老会参加による踊りやコーラス、寸劇などが披露され、楽しい一日を過ごすことが出来ました。

（広報委員 蜂須 誠司）

磯部行政区「功労感謝の会」を開催しました

磯部行政区では、10月27日（日）磯部集落センターにおいて「功労感謝の会」を開催しました。当日は、女性部や手打ちそばの会の皆さんが、手作り料理によりおもてなしをしました。また、お囃子会が地元オリジナルの「磯部甚句・磯部音頭」で会場を盛り上げ、文化専門部による「お楽しみ抽選会」やカラオケ等を楽しみながら大盛況でした。

ご参加いただいた皆様からは「日頃は顔を合わせない多くの皆さんと交流ができて、とても楽しかった」などのご意見をいただき、役員一同も和気あいあいと一日を過ごすことができました。今後も様々な地域交流が図られるよう進めてまいりたいと思っております。

（磯部行政区長 岩瀬 孝夫）



お囃子の演奏で会場も盛り上がりました

国道4号バイパスの美化活動が表彰されました！

8月28日、駒込学区手のひらの会及び17地区ふれあいの会は、国道4号（新4号国道）の長年にわたる道路美化活動に対し、国土交通省関東地方整備局長より表彰されたことを、針谷市長に報告しました。

（広報委員長 梅津 信男）



美化活動の様子

市内歴史散歩（第25回）古河公方重臣ゆかりの寺院

歴史の授業で覚えた「イクニ（1192年）つくろう鎌倉幕府」が、現在は「イイハコ（1185年）つくろう鎌倉幕府」に変わっています。

その鎌倉時代から江戸時代まで700年余り（後醍醐天皇の南北朝時代を除き）武士が国の政をおこなってきました。

武士と仏教との相性は抜群であり、各地に寺院が建立されてその多くが現在まで存続しています。

古河の地は室町時代の後期に鎌倉公方から移った古河公方の館があって、旧古河市の寺院の多くはその頃に建てられました。また、近隣には重臣の城（関宿城・築田氏、栗橋城・野田氏）もありました。今回は、その重臣に由来のある二つの寺院を紹介します。



円満寺（小堤）

小堤にある円満寺は真言宗豊山派の寺院。古河公方重臣・野田氏ゆかりの寺院。正式名 宝林山地蔵院 円満寺。

寺伝によれば平安時代に起源がありますが、当初は南に300mほど離れた場所にあり、室町時代後期に古河公方家臣・諏訪三河守、のちに重臣・野田氏（1554年以降）の保護を受けて現在地に移転したとされています。

現在の円満寺の場所に小堤城があったと考えられますが、寺の北側と南側に内堀の遺構が残されています。そして城に沿って南北に走るのが鎌倉

古道であったと推測されています。

円満寺は葛飾坂東観音霊場の第三十三番札所。観音堂には、十一面観音と百体の小観音が祀られており、春には境内の桜が見ごろとなります。



安禅寺（磯部）

磯部にある安禅寺は、曹洞宗の寺院。古河公方重臣・築田氏ゆかりの寺院。正式名 能江山 寿祥院 安禅寺。

古河公方重臣・築田河内守持助の開基、隣接する五霞町の東昌寺二世の開山により、寛政6年（1465年）に創建されました。

寺が開かれた磯部は、築田氏の本拠・関宿城や拠点となった水海城から4kmほど離れており、古河公方の古河城と水海城との中間地点です。また釈迦沼に近く、関宿城・水海城と水上交通で直結していました。

文明14年（1482年）に築田持助が亡くなったとき、安禅寺に葬るようにとの遺言に従って本堂北方に葬り、塔を安置して「寿祥塔」と名付けたとされています。そして現在も寿祥塔とその他の五輪塔9基が残されています。本堂と境内は、清楚な禅宗のお寺の佇まいです。

今回の取材では、円満寺と安禅寺のご住職に色々とお話をいただきましたことを感謝いたします。

（広報委員 若林 俊彰）

編集後記

昨年、台風第15号、第19号及び集中豪雨により各地に大きな被害をもたらしましたが、幸いにも古河市は大きな被害はありませんでした。令和2年は、穏やかな年になることを祈るばかりです。

しかし非常時に備え常に防災について意識を持つことが必要であることを痛感しました。（広報委員長 梅津信男）

広報委員一覧

委員長	梅津 信男		
委員	鶴見 尚司	蜂須 誠司	長濱 弘道
	尾沼 卓	白石 芳巳	若林 俊彰
	北山 正	西村 榊	